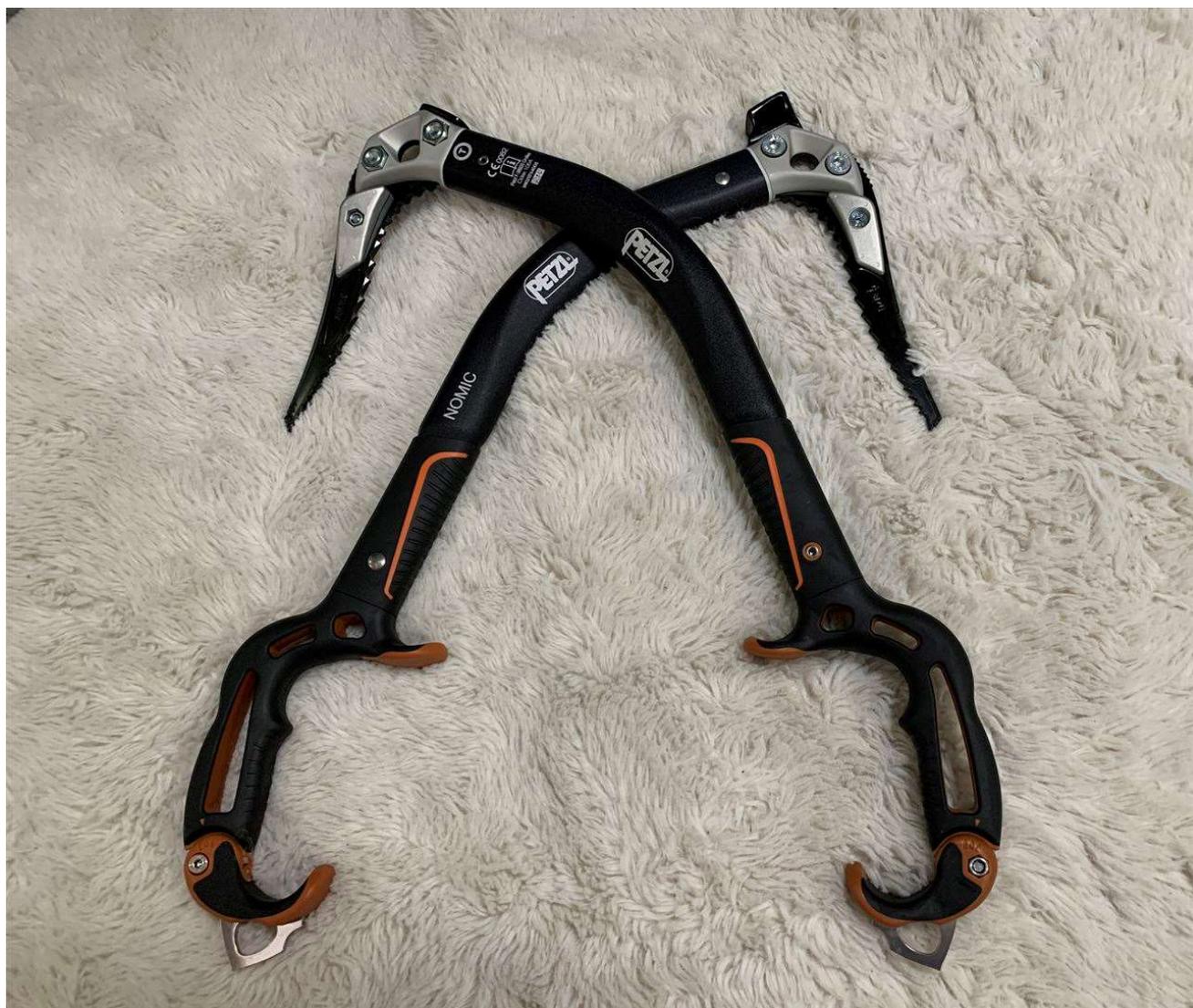


県連ニュース

2024年4月 NO-561号



『アイスアックス』

滋賀県勤労者山岳連盟

2024年4月号 目次

・滋賀県勤労者山岳連盟理事長就任挨拶 新理事長・川口辛二

<公開山行募集>

4/29(祝日) 春の野立山行 湖北・武奈ヶ嶽 比良雪稜会

<緊急アピール>

積雪期登山事故防止の取り組みについて 全国連盟

<情報>

伊吹山・綿向山 登山禁止のお知らせ

<案内>

読函講習会 ★ 座学・実技 3月31日 4月27日 受付中

県連「初級コンパニオンレスキュー講習会」4月6日 受付中

「やまとけいこさんの講演会」4月13日 受付中

<報告>

第48回定期総会 議事録

2024年度理事紹介

県連主催CSS企画「イグルー講習会」報告

雪崩講習会 報告

お知らせ

年間スケジュールとエッセー・写真担当一覧

ぐうたら会長のつぶやき

4～6月 行事予定表

『アイスアックス』

滋賀山友会 長谷川 健治

滋賀県勤労者山岳連盟 理事長就任にあたりましてご挨拶

2024年度・滋賀県勤労者山岳連盟(県連)の新理事を拝命させていただきました滋賀山友会の川口辛二と申します。

今回理事を引き受けさせて頂きましたが、実際考える暇もないほどバタバタと決まった次第です。それまでは教育遭対理事として微力ながら県連の運営に携わらせて頂いておりました。今度からは全体を見て把握して舵を取る重要なポジションだと思いと身の引き締まる思いです。

先日の総会に全国連盟副理事長を来賓に迎えました。その時におっしゃっていたのは、現在会員数が減っている。しかしその中で滋賀県は会員増のトップ5に入っている県との事でした。昨今は山岳会を嫌う傾向にあり SNS が発達した今は尚更加速している印象を持ちます。

その中で会員数を増やしているという事は、各会に所属されています会員皆様の努力だと思います。また、県連の催し物も一時期の寂しさから復活傾向にあり例えばクライミングや沢登りをカリキュラムに入れた初級登山教室や京都府連と協力したコンパニオンレスキュー講習等。県外からの問い合わせも有り成果が出始めていると思っております。

もちろん清掃登山や動物たちが住める環境を守る活動も継続して行って参ります。

先日起きました能登半島地震では74基有る風力発電が2か月経った今でもほとんどが再開できていないという事でした、今後見通しが立たない物も数多くあり、自然を破壊してまで作った風力発電事業計画の見直しも有るとの事。

滋賀県は決して他人ごとでは無く福井との県境に計画があり粛々と進められている様です。こう言った所も自然を愛する山岳会としては注視していかなければならないと思えます。

少し長くなりましたが、職責を果たしたいと考えておりますので皆様方の厳しくも優しいご指導と温かいご鞭撻をお願いし私の就任の挨拶とさせていただきます。

川口辛二

<比良雪稜会の公開山行案内>

春の公開野点山行

比良雪稜会恒例の野点山行です

新緑と花と眺望、そして野点を楽しみませんか！

行 先： 今津の山 湖北武奈ヶ嶽 865m

日 程： 4月29日(月・祝) (雨天中止)

コース： 堅田駅・小野駅・和邇駅=(貸切バス)=高島市今津町角川=石田川ダム～ワサ谷～
武奈ヶ嶽北尾根～武奈ヶ嶽(昼食・野点)～赤岩山～角川=(貸切バス)=
和邇駅・小野駅・堅田駅

歩行 約5時間 (高島トレイルマップの歩行時間は4:20)

交 通： 貸切大型バス

参加費： 比良雪稜会員以外：4000円 (バス代・保険代・抹茶代・菓子代等)

比良雪稜会員・会友・会員家族：3000円

装 備： 通常の日帰り装備

定 員： 45名

申込締切：4月22日(月) 但し、定員に達し次第締切とさせていただきます

主催・申込先： 比良雪稜会

担当：西村高 eメール：kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp

積雪期登山事故防止の取り組みについて、緊急アピール!

当たり前のことだが、山で死んではならない。しかし、2月に入り戸隠連峰西岳で滑落事故発生し、現在も行方不明。暖冬で積雪が少なくても、今年の春山は要注意だ!

遭難対策部

今年1月から積雪期登山の事故が多発している中、会員の行方不明事故が発生した。1月上旬八ヶ岳では、氷瀑から岩稜帯へのトラバースで滑落事故が発生し、ビバークした3名がヘリ搬出された。その他、氷瀑や山スキー・積雪期登山の事故が各4件発生している。会員外でも、2月に入り北海道で雪崩による事故が相次ぎ2名が死亡。大山でも雪崩事故が発生し男性2人が行方不明となっている。暖冬の影響で降雪が少なかった各地の山やスキー場は、3月に入り大雪となり長野県の小谷村の風吹岳で10人が巻き込まれる雪崩が発生した。3月の登山は、不安定な雪質の影響で足元を取られる転倒事故や雪崩による事故も予想される。是非、以下の事例を参考に安全登山をお願いしたい。

それぞれの遭難事例では下記の原因がある

- ・積雪期登山の体力と判断力不足
- ・行動予定と行動時間の差
- ・悪天予報を認識しての行動が欠如
- ・天候悪化による道迷い
- ・ピバーク用装備の不携帯
- ・積雪期登山の技術不足
- ・日頃からの体調管理ができていない

積雪期登山については

- ・装備の確認を怠らない（パーティ内ではダブルチェック）。
- ・ルート状況を事前に想定する。
- ・天候の判断を慎重に行う。
- ・各自の体力や技術を的確に把握する。
- ・特に今年は短時間の増える積雪の状況があることを考える。
- ・天候悪化の低体温症が要因とする事故については、無理な行動を控え引き返す事も計画に入れ、時間に余裕のある行動を心掛けてください。

伊吹山・綿向山 入山禁止のお知らせ

伊吹山、綿向山の登山禁止の件は、もうすでに広報などをご存知だと思います。

例年実施しています清掃登山「伊吹山」について問い合わせたところ米原市市民自治環境課からの返事をいただきましたので、皆様にお知らせします。

「樹氷で人気の日野町・綿向山」についても、今年1月12日に綿向山に登った山友会会員から、4月以降「日野町・綿向山」が森林整備のため、閉鎖されるという情報がありました。日野町HPで確認後、県連HPの登山道情報にアップしました。

今年2月に入り、日野町からのお知らせが届きましたので、皆様にお知らせします。

全国の登山者にも情報として、全国連盟に報告します。

地元山岳会の会員のみなさまのご協力をお願いします。

米原市市民部自治環境課

★ **米原市・伊吹山** 閉鎖箇所の広報については、報道機関への記者会見および資料提供、ウェブサイトでの広報 また、上野口はもちろん他のバリエーションルート等の入口にも（土地所有者名義と連名で）入山禁止の看板を掲げています。

広報文の詳細は、以下のとおりです。

「令和5年7月に登山道が崩落し、落石などの危険があるため、伊吹山は入山禁止となっています。季節やルートにかかわらず、**米原市側の麓からの登山はできません。冬山登山もできません。**」

「伊吹山ドライブウェイは現在、冬季閉鎖中で、営業再開は2024年4月20日の予定です。伊吹山ドライブウェイの営業再開後は、9合目の駐車場から山頂まで登山することができます。なお、9合目から徒歩で麓へ下山することはできません。」

「登山道復旧時期につきましては、現在未定となっております。滋賀県と米原市の合同プロジェクトチームの会議におきまして、**2025年春の再開を目指す方針が示されましたが、実際の復旧状況と土地所有者等関係者との協議により、判断されることとなります。**」

日野町観光商工課

★ **日野町・綿向山** 当町の綿向生産森林組合では、令和3年から順次、組合が管理されている綿向山地先の森林整備（伐採搬出作業や森林作業道の開設）をおこなっておられるところですが、令和6年4月からは綿向山登山口から5合目までの登山道周辺で森林作業を行うこととされています。このことに伴い綿向山登山の主要道である「**綿向山表参道コース**」や「**水無山北尾根コース**」への入山は禁止となり、登山コースも閉鎖します。

つきましては、登山コース閉鎖にかかる期間や内容の周知のご協力をお願い申し上げます。

【工事に伴い閉鎖する綿向山方面登山道】

「綿向山表参道コース」、「水無山北尾根コース」

【工事期間】

令和6年4月～令和8年末

目印の少ない山を迷いなく安全に歩くには、地形図であらかじめルートの特徴を把握しておき、実際の地形と照らし合わせながら歩くことが大切です。

スマートフォンの地図アプリを使いこなすためにも、読図の知識が必要になります。

読図は苦手、という方も多いようですが、仕組みから理解すれば意外にすんなりとコツがつかめ、応用が利くようになるのではないかと思います。

当講習は各回独立した3回の講習で、第2回と第3回は座学を元に実際に山を歩いてみます。1回では覚え切れない、という方は、重複受講も可能です。

- ◆ 第2回 3月31日(日)
 - 時間 9時~16時(午前座学・午後実技)
 - 場所 [座学] 明日都浜大津1階大会議室 [実技] 場所未定(大津近辺の低山)
 - 定員 15名
 - 参加費 1,000円

- ◆ 第3回 4月27日(土)
 - 時間 9時~16時(午前座学・午後実技)
 - 場所 [座学] 明日都浜大津1階中会議室 [実技] 場所未定(大津近辺の低山)
 - 定員 15名
 - 参加費 1,000円

※ 定員に達し次第締め切らせていただきます。

※ 座学・実技とも必ずベースプレートコンパスをご持参ください。

※ 雨天の場合は実技は机上登山に切り替えます。

【講師】 山の会オフトレイル代表 信森 徹

【お申し込み・お問い合わせ】 滋賀県勤労者山岳連盟

mail:shigarosan@gmail.com または 070-9002-3325(宮内)



受付中

昨年 11 月に引き続き 県連行事として取り組みます。
毎年訓練することで有事に備えておきましょう。

第 2 回「ハイキングレスキュー講習会」

- 日時 2024 年 4 月 6 日(土) 受付 8 時 30 分 9 時～15 時 雨天決行
- 受付実施場所 大文字山安祥寺林道入り口(JR 山科駅から徒歩 30 分 地図参照)
- 持ち物 山行時の日帰り装備一式、及び、必須・ヘルメット
緊急時に備えて常々携行しているスリング、カラビナ、細引き(貸し出し可能です)
- 内容 細引きの結び方、簡易ハーネスの作り方、カラビナスルー、事故者の所まで行くために細引きで丸結びを使った斜面の降り方登り方の技術習得
- 対象者 ハイキングの山行リーダー等の方で学んだレスキュー技術を会の中で伝達する意欲のある方。ハイキング等のリーダーの立場ではないが、これからレスキュー技術を学び有事の際にはメンバーの一人として力を発揮しようとする意欲のある方。
- 参加費 無料 (参加費 1000 円は、県連が負担します)
- 駐車場はありません。山科駅のコインパーキングをご利用下さい。
- 今回使用する講習会テキストは現地でお渡しします。
- 近畿ブロック搬出技術講習会「初級コンパニオンレスキュー」に参加する形で実施します。京都・滋賀が講師・スタッフを務めます。

- 申し込み先は、 shigarosan@gmail.com 所属会・携帯・緊急連絡先

滑落・転倒の多くは、「難所」などではなく、通常の登山道で発生していることが多いという報告もあります。

緊急時の対応を知っていると安心です。

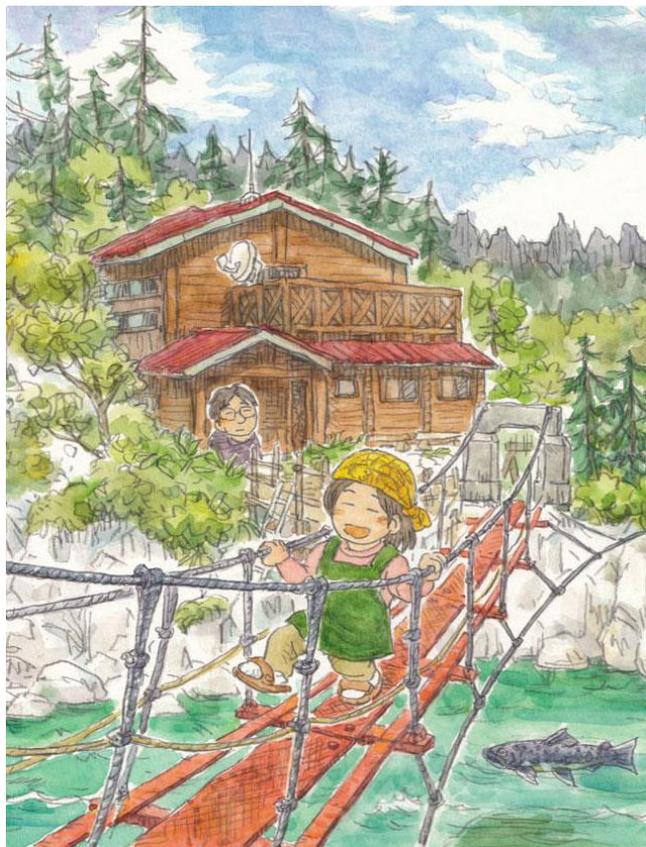
危険なところなんか歩いていない、事故なんて起こらないと思いませんか。

何が起こるかわかりません、万が一の時に、一度でも体験していると、慌てることなく対応できます。そのためにも講習会に参加しましょう。

たくさんの方の参加をお待ちしています。

やまとけいこさんの講演会

山小屋の日常や登山者に思うことなどのお話を聞きませんか。



山小屋の実情や裏話、登山者が守るべきマナーなど楽しいお話が聞けます。今後の小屋泊りの参考にもなります。



プロフィール

武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒
山と旅のイラストレーター
太郎平小屋グループ薬師沢小屋従業員
東京都山岳連盟 東京 YCC 所属
富山在住
著書「黒部源流山小屋暮らし」(山と溪谷社)
「蝸牛登山画帖」(山と溪谷社)

主催:滋賀勤労者山岳連盟

日時:2024年4月13日(土曜日)

開場時間:13時10分 開演時間:14時~16時

場所:大津ふれあいプラザ 4F ホール(明日都浜大津)

大津市浜大津 4-1-1

JR 大津駅より徒歩 10分 京阪浜大津駅すぐ

資料代:滋賀労山会員無料 一般参加者 500円

事前申し込み期限: 3月31日(日) (滋賀労山会員は当日受付可)

申込先:滋賀県勤労者山岳連盟 0413 講演会 宛

shigarosan@gmail.com

又はメッセージ 070-9002-3325 へお願いします。

問合せ先窓口: 藤野 kawahaakebono@gmail.com 090-2040-4995

滋賀県勤労者山岳連盟 第48回定期総会 議事録

日 時:2024年3月3日(日)13:30~15:30

会 場:大津市ふれあいプラザ5F 会議室

来 賓:日本勤労者山岳連盟 副理事長 久保典子氏

出席者:代議員19名 委任状2名 理事9名(欠席1名)

司 会:山の会オフトレイル 山元 理事

1. 県連会長 友永氏挨拶

講習会、公開山行の効果もあり少しずつ会員は増えてきている。また、他会との交流も進んできている。これからの山行に事故のない様務めてもらいたい。

2. 全国連盟の副理事長 久保典子氏挨拶

能登半島地震に集まった救援募金は、石川労山定期総会に出席する全国連盟・川嶋理事長からボランティア活動費として200万円渡した。

全国連盟・浦添会長は2月17日代36回総会あいさつで

① 平和について②気候変動について③組織数については話された。

平和については理事会で平和集会を開くことを決議した。

組織数については、48団体の内6団体で増加、13団体で減少。滋賀は増加団体に含まれる。

3. 兵庫県連からのメッセージ披露 司会者 代読

4. 議長選出 滋賀山友会・長谷川氏、比良雪稜会・加藤氏を選任

5. 資格審委員 ちごゆり山歩会・柴田氏を選出

19名出席 2名委任状あり よって本総会成立の宣言

6. 4号議案について、宮内理事長より提案

7. 選挙管理委員選出 湖南岳友会 北村氏 山の会オフトレイル 信森氏を選任

8. 第1~3号議案審議 宮内理事 事前資料配布により特に説明は省く。

質疑:

西村(比良雪) 清掃登山は、集中日を設け実施するのではなかったか。

宮内 他会からも参加できるように4日間に分散して実施する。

太田(シャクナゲ) 伊吹のク清掃登山はどうなるのか。

宮内 後日 米原市に確認して、報告する。

信森(オフトレイル) 交流山行で個人山行が企画されるが、会の例会と重なることはないか。

宮内 企画者の会の例会と重なることはない。他会の例会と重なってもよいと思う。

濱本(ちごゆり) 伊吹山は登山禁止となっているが入山した場合 保険は適用されるのか。

宮内 計画書が出された段階で止めてほしい。...

久保(来賓) 地元の山情報は、全国の労山にも発信してほしい。

信森(オフトレイル) 自然保護部のメガ風力発電への対応という点で、他団体との連携については

田中(自然保護部) 余呉、南越前の風力発電事業について 熊森協会が反対運動をしている。南越前町は反対しているが連携の動きはない。滋賀県、福井県、高島市共に反対している。現場は膠着状態にある。

宮内 他団体の講演会等を県連HPで紹介している。直近では、3月17日「イヌワシからのメッセージ」の基調講演をアップしている。

9. 会計監査報告 濱本氏 監査報告 決算報告問題なし。

(10分の休憩)

10. 第1号議案 採決・・・拍手 賛成多数で可決

第2号議案 2024年度活動計画報告 採決・・・挙手 賛成多数で可決

第3号議案 2024年度会計予算案 採決・・・挙手 賛成多数で可決

第4号議案 2024年度役員選出・・・理事立候補者なし。候補者を発表 可決

休憩(第1回理事会・・・担当決め)

報告・発表

会長 友永芳和(滋賀山友会)

理事長 川口辛二(滋賀山友会)

事務局及び財政部 宮内眞子(滋賀山友会)

教育・遭対部 谷内資康(新 CL 山の会オフトレイル) 長谷川健治(新 滋賀山友会)

吉田正幸(新 湖南岳友会) 濱本健二(新 ちごゆり山歩会)

組織部 藤野健太郎(比良雪稜会)

自然保護部 田中武範(滋賀山友会)

機関紙部 川嶋 文男(比良雪稜会)

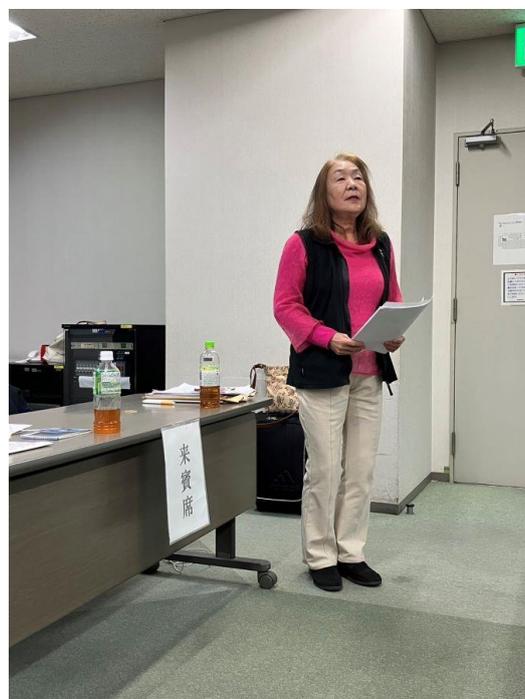
加藤二三男(新 比良雪稜会)

会計監査 我妻滋功(シャクナゲ溯行クラブ)

重井美佐男(湖南岳友会)

11. 友永会長挨拶の後 終了

記録:藤野



次回 第2回ZOOM理事会は、3月27日(水) PM8時～9時 開催します。

議題「やまとけいこさんの講演会の最終確認」と「清掃登山について」

2024 年度滋賀県勤労者山岳連盟役職・担当

役職・担当	氏 名	所 属 会	備考
会 長	<small>ともなが</small> 友永 <small>よしかず</small> 芳和	滋賀山友会	再任
新理事長	<small>かわぐち</small> 川口 <small>しんじ</small> 辛二	滋賀山友会	再任
事務局長	<small>みやうち</small> 宮内 <small>まさこ</small> 眞子	滋賀山友会	再任
教育遭対	<small>はせがわけんじ</small> 長谷川健治	滋賀山友会	新任
自然保護	<small>たなか</small> 田中 <small>たけのり</small> 武範	滋賀山友会	再任
機関紙	<small>かとう</small> <small>ふみ</small> <small>お</small> 加藤二三男	比良雪稜会	新任
機関紙	<small>かわしま</small> <small>ふみ</small> <small>お</small> 川嶋 文男	比良雪稜会	再任
組 織	<small>ふじのけんたろう</small> 藤野健太郎	比良雪稜会	再任
教育遭対	<small>たにうち</small> 谷内 <small>ともやす</small> 資康	オフトレイル	新任
教育遭対	<small>よした</small> <small>まさゆき</small> 吉田 正幸	湖南岳友会	新任
教育遭対	<small>はまもと</small> <small>けんじ</small> 濱本 健二	ちごゆり山歩会	新任
会計監査	<small>あがつま</small> <small>しげのり</small> 我妻 滋功	シャクナゲ溯行クラブ	再任
会計監査	<small>しげい</small> <small>みさ</small> <small>お</small> 重井美佐男	湖南岳友会	新任

みなさまご協力 お願いいたします。

滋賀労山主催（CSS 企画） イグルー講習会報告

山の会オフトレイル 信森 徹

昨年夏ごろから、イグルー山行の第一人者・イグルスキー米山こと米山悟さんをお願いしていたイグルー講習を、このほど無事実施することができました。

米山さんは北大山岳部イグルー縦走の中心メンバーで、テントでは安全が確保できない北海道の日高雪山縦走をイグルーで達成され、その技術を改良し続けながら伝えておられる方です。

僕が惹かれたのも、このイグルーの実用山岳技術としての位置付けです。

実際にイグルーは、雪洞などと比べても

- ・雪が少なくても作れる
- ・斜面でなくとも作れる
- ・排雪作業が非常に少なく効率的
- ・生き埋めになる心配がほとんど無い
- ・酸欠になる心配も少ない

など、非常時に限らなくとも多くのメリットを備えています。

米山さんの尽力で、最近では徐々にイグルーの認知度も上がってきていると思いますが、まだまだメジャー技術になっているとまでは言えないのが現状です。

どうせならこの技術の素晴らしさと作る楽しみを他の人にも味わってもらえる機会にしたいと思い、当会の所属する滋賀労山の講習として企画し、米山さんに打診したところ、快く引き受けてくださいました。

当日は滋賀労山から 10 名、京都労山から 2 名、大阪労山から 2 名参加があり、14 名+米山講師で講習を行うことになりました。

まずは米山さんが見本を一つ作ってくださり、その後参加者それぞれが自分でも作ってみます。

最初はなかなか屋根が塞がらなかつたり崩壊したりするのですが、みなさんだんだんとコツを掴んでいかれたようです。

技術的には、できるだけ軽くて締まった雪から長いブロックを丁寧に切り出し、橋を渡すように開口部を塞いでいくのがポイントです。

イグルーの中は静かで、念入りに隙間を塞げば、気温も氷点より大きく下がらず、安全な居住空間が得られます。

いくつも完成したイグルーが寄り集まって、講習会場はイグルー村のようになりました。ただ、みんなで集まれるような巨大なスケールの物はできないので、作成後みなさんがそれぞれのイグルーに入ってしまうとあまり交流できなかったのが少し残念でした。翌日も米山さんの助言を受けながらそれぞれイグルー作りに挑戦し、午後は雪山関連技術として簡単な弱層テストとアバランチビーコンの操作を練習して講習を終了しました。

米山さんは、紹介で「イグルーは現場の雪と自分の技で山を渡り歩く自由な登山思想です。雪質を見る目と技を身につけ40分以内で作れば心強い救助・生存の実用技術です。」と書かれています。

講習に参加された方が、今後イグルーの自由度を生かした山行を企画し、実践していただければ嬉しく思います。

日程：2024年2月10日・11日 晴れ時々粉雪

場所：乗鞍岳・乗鞍スノーリゾート上部標高2,000mの疎林付近

当日の詳しい様子は以下（山の会オフトレイルブログ）をご覧ください。

<https://norabeko.blog.fc2.com/blog-entry-357.html>

米山さんご自身による講習のレポート

<https://igloosky.com/2024/02/12/norikura-training-shiga-rozan/>

[https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-6453053.html?](https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-6453053.html?fbclid=IwAR2jXErybXL87oIY6VJQuxTKqcd20bOqVqhLmjv-vKEVDLTHOotermFmoao)

[fbclid=IwAR2jXErybXL87oIY6VJQuxTKqcd20bOqVqhLmjv-vKEVDLTHOotermFmoao](https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-6453053.html?fbclid=IwAR2jXErybXL87oIY6VJQuxTKqcd20bOqVqhLmjv-vKEVDLTHOotermFmoao)

米山講師によるデモ





参加者とそれぞれのイグルー



日本雪崩ネットワーク AvSAR 基礎コース・雪崩講習報告

山の会オフトレイル 信森 徹

先日のイグルー講習で簡単な弱層テスト・アバランチビーコン操作の練習をしたのですが、自分自身の知識のブラッシュアップを図りたいと思い、標記の講習に参加してきました。なお、参加に当たっては、県連の講習会参加補助を受けています。

会場は伯耆大山山麓付近、雪山技術一般ではなく、雪崩搜索・救助技術に特化した講習で、日本雪崩搜索救助協議会のマニュアルに準拠した内容になっています。

雪崩探索救助を英語にすれば Avalanche Search and Rescue（略して AvSAR）で、日本雪崩搜索救助協議会は、組織的な搜索救助方法の標準化及び訓練コースを実施し、生存救出率を向上させるために設立された団体です。

当協議会には、日本雪崩ネットワークの他、労山や日山協、ガイド協会なども加盟しています。

講習人員は講師 2 名+アシスタント 2 名に受講生 16 名（報告者以外全員スキーヤー、滑走系）の構成で、ビーコンの特性の説明から始まり、搜索練習、掘り出し練習、チームによる搜索から救助までの流れを順に行っていました。

ビーコンはますます増える電子機器や送電線、金属の構造物などの影響を受けるため、通常公称よりかなり短い 30~40m の実用感度しか得られないこと、搜索時には発信側ビーコンの磁束線の向きに影響を受けることなど、実戦的な説明がなされます。

特に当たり前のように十分意識しておかなければならないなと思ったのは、ビーコンを使用するのは事故者の救出が目的なのだから、画面ばかり見るのではなく何より周囲の状況をよく観察することが重要、という部分です。

一通りビーコン操作をした後、プローブによるピンポイントの位置確定とショベルによる掘り出しを行うのですが、ショベルを使う際は腰を入れて力を効率良く使うこと、壁をブロック状に切り崩すように掘り出すこと、後方要員は掘るというより後ろに掻き出すような意識で排雪を行うことなど、これまた実戦的な内容で、特にショベルの使い方に関してはイグルー作りとも通じる部分がありました。

また、ビーコンを携帯していない事故者の搜索は、ラインプロービングという複数人が一列に並んで人海戦術で行うプロービング法を用いるのですが、これが如何に労力のかかる非効率な方法であるかということも実感できました。

プローブは単純なアルミの棒ですが、現場で慌てているときちゃんとロックできておらず、

雪に刺したところ分解してしまって抜けなくなるというアクシデントもあるようで、このような些細なことでも人の生死に関わりかねないということも、肝に銘じておかなければならないと思いました。

午後からはチームに分かれて想定埋没者を増やしながらか捜索を行いました。持参したビーコンは複数埋没者を順に捜索するためのマーキング機能が無く（別の方法はありますが）、また受信モードに切り替えて2分経つと自動で送信モードに復帰してしまうため、積極的に参加できませんでした。

その場合でも、各自ができる範囲で役割を果たすことが重要なのですが、具体的に想定されている状況や前提条件が今ひとつピンと来ず、あまり適切な動きができなかったのは残念でした。

この講習では、偶然居合わせたメンバーが如何にうまく連携を取って統率の取れたチームとして動くか、ということが重視され、コミュニケーションの取り方というのが救出の一つの鍵になるように思われました。

ただ、それぞれのバックグラウンドやスキル、事故状況や埋没者の数、その状態、装備の違いなどを踏まえて十分チームワークを発揮できるようマネジメントを行うには、相当な経験と判断力が必要になりそうです。

僕自身もほとんどソロかそれに近い行動形態で、他の登山者に出会うこともあまり想定していない面もあり、必要になった場合の人との連携という部分では課題が残りました。

全体として、上述のビーコンの機能的制約や、この点を知りたいと思った部分については結局自分自身で練習してみるしかなさそうだったこともあり、個人的には最後までピントが合わなかった部分があったのですが、一番よかったのは、自分の動き方一つで事故者が救えるかどうか左右されるということが実感でき、責任の重さを再認識できたことです。そもそもこの講習に参加したのは、自分一人だけでは雪崩捜索練習を行うのが難しいからです。

険しいルートでなくても、条件次第ではどこで雪崩が起きるかわかりません。

みなさんも是非一緒に練習して万一のアクシデントに備えましょう。

報告は以上ですが、最後に、「捜索・救助も大事だが、そもそも雪崩る場所に入らないことが何より大切」という講師の言葉を添えておきたいと思います。

日程：2024年2月27日 曇

場所：伯耆大山山麓・大山寺近辺

県連理事会 2024年度年間スケジュール

月	検討事項	担当	理事会開催	備考
3月	第48回定期総会	事務局	3月3日 大津市ふれあいプラザ	第1回理事会 定期総会休憩中 10分程度 理事長決め 定期総会後、新旧理事との懇親会5時～7時(浜大津)
			3月27日 pm8-9ZOOM	もろもろの確認事項 4/6コンパニオンレスキュー京都の 人数等の確認
4月	清掃登山集約・ちらし発注段取り等	事務局	4月17日	各会山域決定3月末までに報告・各会が自治体と打ち合わせ チラシ・しおり・手引き作成して郵送 HP掲載
	初級コンパニオンレスキュー結果報告・次年度に向け	第3回理事会	pm8-9ZOOM	
5月	清掃登山・交流月間・登山祭典の進捗報告	事務局・組織部 第4回理事会	5月17日 pm8-9ZOOM	★交流山行実施 各会からシート提出 案内シートを機関紙に掲載する 各会へ組織部から依頼 通年企画 別途詳細案内原稿も掲載可能 HPアップして一般参加も可能か確認する。 交流山行報告提出は必須、機関紙掲載 ★組織部から各会に依頼 10月月間登山祭典コースを8月初旬に決定 ちらし作成(外注プリントバック) 9月初旬郵送・配布・HP掲載 各会の報告を機関紙掲載12月号(11/15締切)
			6月5日 pm8-9ZOOM	機関紙に各会の清掃登山報告6/15〆切 ゴミ量報告・写真 6/5〆切
6月	清掃登山(メインは6/2 2週にわたって実施)	事務局 第5回理事会	6月5日 pm8-9ZOOM	
7月	各部から検討事項連絡	教育連対部 第6回理事会	7月3日 pm8-9ZOOM	教育連対部から企画(遭難対策訓練 講習会等の提案) ★11月10日「ファーストエイド講習会」イン谷付近
8月	機関紙のみ発行 7/20発行		休会	
9月	登山祭典(月刊)の進捗報告	組織部 第7回理事会	9月4日 pm8-9ZOOM	8月お盆前に印刷発注、月末に完成後、郵送
10月	登山祭典	組織部 第8回理事会	10月2日 pm8-9ZOOM	各会から登山祭典報告提出 機関紙11/15〆切
11月	第1回代表者会議 兼 理事会 (明日都浜大津1F会議室)	事務局 9回理事会	11月13日 明日浜大津	今年度の清掃登山、登山祭典の反省と来年度への要望等
12月	総会資料作成 担当理事が作成 (〆12/20集約)	事務局	休会	総会資料作成 担当理事が作成 (〆12/20集約)
1月	議案書の検討理事会	事務局	2025 1月15、29日2回	事前にメール配布している議案書 (事業報告・計画案)の検討会議。
2月	第2回代表者会議で議案書・会計決算報告の説明	事務局	2月12日 明日浜大津	議案書検討・決算報告説明
3月	第49回定期総会	理事会	2025.3.2	午前中 10時～講習会を予定、総会は午後1時30分から

★ 行事予定に合わせて、理事会年間予定を作成しました。
★ 理事会は、基本メールで情報の共有をします。事前にレジメ配信して月一回ZOOM会議 水曜午後8時～9時30分(8月、12月休会)
★ 代表者会議・総会は出席を前提とした会議です。(ネット環境が整備されていないため)
★ 役割分担 機関紙部は、毎月機関紙発行、組織部は、交流山行・登山祭典担当。 教育連対部は、初級登山教室スタッフ・レスキュー講習会スタッフ他企画検討。
画 事務局・自然保護部は、清掃登山担当、財政部は一般会計の支出収入関係

2024年度 機関紙エッセイ・写真担当一覧表

	リレーエッセイ・巻頭言	執筆者	写真
2024年4月	理事長・新年度挨拶	理事長	理事
5月	湖南岳友会		湖南岳友会
6月	比良雪稜会		比良雪稜会
7月	山の会オフトレイル		山の会オフトレイル
8月	ちごゆり		理事
9月	シャクナゲ		理事
10月	滋賀山友会		滋賀山友会
11月	湖南岳友会		湖南岳友会
12月	比良雪稜会		比良雪稜会
2025年1月	会長・新年あいさつ	会長	理事
2月	山の会オフトレイル		山の会オフトレイル
3月	滋賀山友会		滋賀山友会

ぐうたら会長のつぶやき

総会も皆様のご協力で無事に終了しました。ありがとうございます。新しい年度も特に変わった活動はできないと思いますが、清掃登山、登山教室、登山祭典、交流登山と様々な行事が控えています。それ以外にも各会では例会山行や合宿など活発な活動をされると思います。くれぐれも事故の無いようにお願いします。誰も事故を起こしたくて起こすわけではありません。ほんの些細な気の緩みが大きな原因だと思います。それと下山時の筋肉の疲労なども原因の一つだと思います。山筋ゴーゴー体操などの講座も開かれると思います。積極的に参加していただいて筋力アップも図ってください。日々の生活でも出来るだけ歩くことを心がけてください。小さな努力の積み重ねが事故防止につながると思います。

まだまだ続く古いアルバムからのコメント――パートⅢかな？

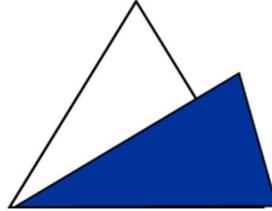
- ① 屋久島…海を渡って山に登る。ほのかにロマンの香りがします。それが九州の最高峰宮之浦岳の山頂に立つ山旅なのでムード満点です。月に35日降る雨に迎えられて長い軌道歩き。小杉谷山荘で一晩を送り、憧れの宮之浦岳への第一歩を踏み出す。ウイルソン株、縄文杉を過ぎて宮之浦岳との初対面、白い木肌を見せる屋久杉の緑の衣をまとい、遥かな空にゆったりとした姿を見せる山々。洋上アルプス屋久島に輝く太陽は明るく映えて、山々への憧れは高まり心は舞っています。一日の終わりを九州の最高所で迎える。一日の最後の残照が永田岳の山影に消えて、美しい夜空に星座が巡った。南国の夜も肌寒かった。そして爽やかな夜明けが訪れて、また一日の山旅が始まる。遥か屋久の山々を巡る山旅が……。
- ② さらば屋久島、わずか4日間の山行だったのに、去りがたいこの胸の高鳴りはどうしたのか？ ある時期における私の山行の一つの頂点をなした屋久島の山旅でした。1900m 近い山上でのツェルトビバーク。永田岳の彼方に沈みゆく夕陽の素晴らしさ、風に乗って聞こえてくるような屋久杉のささやき、南国の山旅は私に山への憧れを永遠のものとして刻み付けたのでした。同時に山に対するささやかな自信も与えてくれたのでした。山に登る心は永久につかめないけれど、一つの方向を与えられたのです。そしてこの山行が、私が山の会に入会する前の最も充実した一時期における山行の一つとして印象深いものでした。
- ③ 雪の九重を訪ねて…何度か九重の山々を訪ねました。この山行のように雪のある九重は初めてでした。牧ノ戸峠は白銀の世界でしたが、人の多さには興ざめでした。雪の道を湧蓋山の姿を振り返りつつ歩いた。西千里の雪原の彼方に久住山の姿があった。白い肌に岩肌が黒く光った。風の強い山頂に立った。白い九重の山々は、青い空の下に輝きわたり、大船の頂きも白く輝いていました。久住分れより急斜面を下り北千里に入る。何年か前に7人の登山者の命を吹雪の中で奪い去った北千里も今日はのどかな日和でした。法華院温泉のかたわらを抜けて、坊ケツルの休憩舎に腰を落ち着けました。数時間が過ぎて、大船の山腹を黄金色に染めた夕暮れのひと時、美しい景色でした。穏やかな一日の終わりでした。次の日早朝の大船の頂きに立って山行は終わりました。素晴らしかった冬の九重連山。もう一度訪ねて大船の輝く雪の山肌を見たいものです。
- ④ 初めて阿蘇に登った時、根子岳の異様な姿に目を見張りました。鋸の歯の様にギザギザになった稜線、今にも崩れ落ちそうな姿。いつの日かあの稜線を歩きたいと願いました。そして今、縦走を終えました。思った通り私には難しい山行でした。天狗の登攀では冷や汗を流すほどの緊張をしました。しかし東峰に立った時の嬉しさは何とも言えませんでした。自分自身の足でこの縦走を終えた思いで一杯でした。根子岳、阿蘇の山々の中でも特異な山です。

行事予定

	3	初級 座学 オリエンテーション		7	中山～大峰山	雪稜
				7	花見山行	岳友
				未定	お花見 余呉湖	ちご
	6	ハイキングレスキュー講習会		14	鈴鹿縦走 藤原岳～ゴグルミ岳	雪稜
	7	近畿ブロック搬出技術講習会		14	第53回定期総会	山友
				14	年次総会	OT
	10	初級 クライミング座学1				
4	13	「7ヤマトケイコさんの講演会」		21	高見山	雪稜
	17	第3回ZOOM理事会		21	ヴィア・フェラータ(御在所のバリエーション)	岳友
	21	初級 クライミング実技1		21	ハイキング部例会	山友
				21	清水山城址 山菜取り	ちご
	27	読図 座学と実技		25-30	台湾の山	OT
	28	初級 クライミング実技2				
				29	春の公開野点山行 湖北 武奈ヶ嶽	雪稜
				3-4	北穂高岳	OT
				4-6	大普賢岳～山上ヶ岳～稲村ヶ岳	雪稜
				5-6	稲村ヶ岳	雪稜
				5-6	涸沢岳	OT
	8	初級 読図座学		3-5	四国 三嶺～剣山	岳友
5				3-5	立山スキー(スキーネット)	OT
				12	ハイキング部例会	山友
	12	初級 クライミング実技3		12	六甲山	ちご
	15	第4回ZOOM理事会		12	石樽峠～竜ヶ岳～セキオノコハ	雪稜
	19	初級 読図実技1		19	大文字山	雪稜
				19	百里ヶ岳	岳友
				26	鞍掛峠～三国岳～五僧峠	雪稜
				26	清掃登山「鈴鹿・雨乞岳」	山友
				26	清掃登山「北比良・ノタノホリ」	ちご
				2	清掃登山「近江湖南アルプス・天狗岩」	山友
	5	第5回ZOOM理事会		2	清掃登山「希望ヶ丘」	岳友
	9	初級・実技予備日		2	清掃登山「雪野山」	OT
				2	清掃登山「マキノ・寒風山」	シャク
				2	清掃登山「三上山」	テクテク
6	12	初級・座学クライミング2		2	清掃登山「南比良2コース」	雪稜
				9	比叡山	ちご
				16	琵琶湖疎水	雪稜
				23	リトル比良	ちご

スキーネット; 山スキーネット滋賀、CSS: クライミング研究会滋賀 初級: 初級登山教室

行事予定表に記載の山行を希望される方は、各会に問い合わせてください。



2024年5月号の原稿は、4月15日〆切です。

5月号のリレーエッセイと写真の担当は『湖南岳友会』です。

原稿の投稿先 宮内 m-miyauchi@ares.eonet.ne.jp

加藤 cacl109@zd.ztv.ne.jp

川嶋 f-kawashima@mtb.biglobe.ne.jp

用紙サイズは A4 ントは本文 11~12、タイトル 14~16、余白は上下左右
19mm とし、写真は JPG、原稿は、WORD と PDF 版と両方送信願います。

『県連ニュース2024年4月 NO.561号』

発行日:2024年3月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

〒520-0047

大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1F
大津市市民活動センタースモールオフィス内
メールボックス NO13

ゆうちょ銀行(店名418)
普通 0239956

<https://www.shigarosan.com/>

Email shigarosan@gmail.com

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 加藤 二三男 川嶋 文男